

# 送 辞

---

きらめく日差し、そして頬を伝わる風が日増しに柔らかくなってきました。春の訪れです。今日この佳き日に、新たな世界へと旅立っていかれる卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。この星稜高校で多くを成し遂げてきた先輩方の晴れやかな眼差しに、私たちは嬉しさと誇らしさ、そして一抹の寂しさを感じずにはられません。それほど先輩たちは、私たちにとって大きな存在でした。今日は、そんな先輩方への感謝の気持ちを述べさせていただきます。

私は吹奏楽部に所属しています。部活の先輩に、いつも早朝練習に来て一人黙々と練習に励んでいる先輩がいました。その先輩はソロを演奏することが多い楽器を担当していました。中学時代と担当楽器が変わってしまい、初心者からのスタートでした。あるホール練習の日のことです。何度やっても上手くソロが吹けず、その先輩が過呼吸になってしまったことがありました。皆の前で何度も一人で吹くことで精神的に追い詰められてしまったからか、出したい音が出ないように出せない悔しさからか、激しく胸を上下させて苦しそうに泣いている姿を目の当たりにしました。練習でできていたものが出しきれないもどかしさや辛さを自分のことのように感じました。辛すぎる。こんなに辛い思いをしてまでなぜ努力し続けることができるのだろう。初心者だからと言い訳をして逃げ道をつくることもできるのに、なぜこんなに頑張ることができるのだろう。今、私も部内では最上級生になり、ソロを演奏する機会が増えてきて、やっとその理由が分かったような気がします。それは、自分の役割をソロに見出し、全うしようとする先輩の信念ではないかと。聞いてくださる人に感動してもらえる音楽を仲間とともに奏でようとする先輩の強い信念ではないかと。本番の演奏後の何とも言えない先輩の誇らしい表情と幕が下りた瞬間安堵し、崩れ落ちる姿を見て、鳥肌が立ちました。「かっこいい」と思いました。私もそうでありたいと思いました。私の中にあるべき姿を示してく

ださった先輩を私は心から尊敬しています。きっと、先輩方の努力される姿から私のように感じている在校生がたくさんいるはずです。先輩方、本当にありがとうございました。

ところで、皆さん、グレタ・トゥーンベリさんをご存知でしょうか。十六歳という若さで国際連合のサミットという大きな舞台でスピーチをした少女です。世界中の人々の前で委縮することなく、力強く主張する姿に多くの人が驚きました。しかし、グレタさんは特別すごいのでしょうか。私は、そうでないと思います。グレタさんには、未来を守りたいという強い信念があります。その信念によるスピーチが人の心を動かし、何かを変えつつあります。それは、ソロへの責任感から努力し続けた先輩と同じだと思うのです。先輩にも強い信念があり、それが私の心を動かし、今の吹奏楽部を作っています。そして今、卒業していかれる先輩方皆さんの努力も何かを生み出したはずです。信念のある行動は必ず何かを変えていく力がある。先輩方から教わったことです。本当にありがとうございました。

これからは、何が正解かが分からない世の中になっていきます。氾濫する情報に戸惑ったり、周囲との軋轢に苦しんだりすることもあるでしょう。どんな状況であったとしても揺らぐことのない強い信念を持ち、行動し、誰かの幸せにつなげていけるそんな皆さんであってください。

心からの感謝とともに皆さんの輝かしい未来をお祈りして、送る言葉と致します。

令和二年三月三日

星稜高等学校 在校生代表 表 優空